



雅と豪快さを併せ持つ、
唐造りの名城

小倉城



リバーウォーク北九州から望む小倉城

小倉城は1602年（慶長7年）に関ヶ原の功臣細川忠興により築城が開始された「唐造り（上階が大きく張り出していること）」が特徴の城であるが、1837年（天保8年）の火災で焼失している。現在の天守閣は1959年（昭和34年）に再築されたものではあるが、隣接するリバーウォークや北九

州市立中央図書館を含め、この天守閣の位置と形状を手掛かりに設計された建物は多く、この天守が小倉の都市景観の形成に及ぼした影響は大きい。特にリバーウォークとの間にはさまれた堀や、切り石を使用せず足立山から運んだ自然石を積み上げた「野面積み」の技法で築かれた石垣は築城当時のまま

の姿を保ち、周辺の建築との間に形成されている都市空間には特筆すべき豊かさがあり、今も市民に愛されている。

多くの天守建築が失われた事例が多いなか、この天守を再築するために努力した先人に敬意を表したい。

（赤川 貴雄）



野面積み



小倉城庭園から望む小倉城

1 小倉城 所在地/小倉北区内 2-1 竣工/1609年(推定) 設計/不詳



2 広寿山福聚寺
所在地/小倉北区寿山町 6-7
竣工/1665年 設計/不詳



3 蒲生八幡神社 本殿
所在地/小倉南区蒲生 5-6-10
竣工/1763年 設計/不詳



7 旧高崎家住宅 (伊馬春部生家)
所在地/八幡西区木屋瀬 4-12-5 竣工/1835年 設計/不詳



8 寿命の唐戸 (水門)
所在地/八幡西区楠橋西 3-12
竣工/1804年 設計/不詳



9 立場茶屋銀杏屋
所在地/八幡西区石坂 1-4-6
竣工/1837年 設計/不詳



山門



舍利殿

4 大興善寺
所在地/小倉南区蒲生 2-8-6
竣工/山門:1671年
舍利殿:1690年頃
設計/不詳



5 九州鉄道茶屋町橋梁
所在地/八幡東区茶屋町 4
竣工/1891年 設計/不詳



6 堀川運河 所在地/八幡西区大膳ほか 竣工/1762年 設計/不詳



本殿



拝殿・幣殿

10 廣旗八幡宮
所在地/八幡西区楠橋上方 1-4-1 竣工/本殿:1842年 拝殿・幣殿:1848年 設計/不詳